

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (九州)	◎	スーパー（店長）	・ゴールデンウィーク商戦は報道でもあるように、交通機関やホテルの予約状況から、新型コロナウイルス感染症発生前と変わらない人流があり、特に地方は活性化していく。また、5月には新型コロナウイルス感染症の分類が5類感染症へ分類され、景気は更に回復すると判断している。
	◎	乗用車販売店（役員）	・新年度に入り、販売数や来客数は安定している。今後も新型車投入が予定されており、多くの注文が期待できる。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたことで、人の動きが良くなっており、物も売れていく。
	○	商店街（代表者）	・景気は回復基調にあり、来街者及び来客数が増加することを期待している。
	○	商店街（代表者）	・5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に分類されるため、経済活動は活発になると予想され、徐々に景気は良くなる。
	○	商店街（代表者）	・5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げられることもあり、ゴールデンウィークを契機に現状より売上が増加することを期待している。
	○	一般小売店〔青果〕（店長）	・5月から7月はマンゴーの時期になり、前年と比較すると倍の注文がある。ギフト商品が前年よりかなり増加すると予想される。
	○	百貨店（経理担当）	・新型コロナウイルス感染症の影響が薄れつつある。催事の動員も良くなり、インバウンドの売上也徐々に回復傾向である。
	○	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症が5類感染症に分類されることや全国旅行支援、海外クルーズ船の入港増加、また、チャーター機増発が見込まれ、国内外から大きな人の動きがある。通販部門は落ち着きが見えるが、自家需要志向の紳士婦人雑貨やし好性の高いブランド品・舶来雑貨は価格上昇しているものの、全国旅行支援の利用で購入意欲は継続しており、ギフトシーズンを控え店頭への来店は増加し、加えて、新生活や自家需要や県内外からの観光需要増加で回復が望める。
	○	百貨店（販売促進担当）	・物価高騰により食品の動きが鈍化することが予測される。
	○	スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルス感染症の規制等から解放された消費者心理が、レジャーや外食等に大きく振り分けられている。生活スタイルも変化しており、中食や家飲みなどの需要もある程度定着し、食品スーパーマーケットにもプラスになると予想される。
	○	スーパー（企画担当）	・誘客につながる催事やイベント等の再開により、人流の回復が更に進めば、景気回復が確実なものになると考えている。
	○	コンビニ（経営者）	・マスクをしていない客もかなり見掛けるようになり、人の動きが活発化している。アジア系のインバウンドにより、売上増加に影響を与えている。しかし、商品値上げの影響が不安材料としてある。
	○	コンビニ（経営者）	・今後、国内外からの人の流入増加が期待でき、来客数の増加が見込まれる。
	○	コンビニ（経営者）	・客の動きも出ており、3か月後を期待している。
	○	コンビニ（経営者）	・行動規制が緩み、今後は週末、休日の行楽の動きが活発になり、家族連れやグループの行動が増加するため、コンビニエンスストア需要は高まる。それにより、買上点数や来店頻度の増加が見込まれ、ドリンクや菓子、米飯類等多岐にわたる商品の販売増加が期待できる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・賃上げの影響や新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ分類されるため、景気に影響することに期待している。
○	コンビニ（エリア担当・店長）	・新型コロナウイルス感染症が落ち着き、客単価が高い夕方の来客数が伸びている。このまま夏に向け、更に来客数が増え、売上も増加していくことが見込まれる。	
○	家電量販店（従業員）	・ゴールデンウィークは家電の需要が落ち込むが、夏に向け暑くなると必然的に冷房器具の需要が増える。	
○	乗用車販売店（役員）	・需給改善は、今後も続く見込みである。受注は落ち着き始めているが、今後の新型車に期待をしている。	

○	その他専門店 [コーヒー豆] (経営者)	・梅雨から夏にかけて、リキッドコーヒーの消費が増加してくる。新規の客が増えているため、今月も売上増加につながっていく。
○	その他小売の動向を把握できる者 [ショッピングセンター] (支配人)	・東日本大震災の際にも、自粛ムード後の最初のサマーバーゲンセールはアパレル関係を中心に高稼働していた経緯を踏まえると、3か月後の消費は、夏休み等に向け活性化すると考えている。一方、ウクライナ情勢による光熱費や物価高騰、円安の状況次第では変化することも予想される。
○	その他小売の動向を把握できる者 [ショッピングセンター] (統括者)	・今後、中国人観光客の増加が期待できる。
○	スナック (経営者)	・コロナ禍での来客数の減少は落ち着いてきたが、平日、週末共に客足は鈍い。来月より新型コロナウイルス感染症の分類が5類感染症となり、人出の増加が見込まれるため、期待している。
○	観光型ホテル (支配人)	・全国旅行支援の終了により、宿泊者数は横ばいを想定しているが、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ分類されることで、地元利用客の増加が見込まれる。
○	観光型ホテル (総務)	・5月8日以降は、一気に景気が上向いてくると予想しているが、首都圏では新型コロナウイルス感染症第9波の影響が懸念される。
○	都市型ホテル (スタッフ)	・月を追うごとに客室稼働率は上がっており、利用者数が増加傾向である。今後、大幅な売上増加は期待できないが、海外渡航の増加は確実であるため若干良くなっていく。
○	都市型ホテル (スタッフ)	・3か月後は夏の繁忙期に入るため、新型コロナウイルス感染症発生前に完全に戻っている。
○	旅行代理店 (職員)	・入国制限緩和も行われ、夏に向け海外旅行の需要も今より高まる。
○	通信会社 (企画担当)	・予算や業務内容が、新型コロナウイルス感染症の収束前提で引き合いが増えている。
○	観光名所 (従業員)	・今後、来客数が多くなる見込みである。
○	観光名所 (職員)	・月曜日にもかかわらず、居酒屋では客が多くなり、にぎわうようになっていく。この状態が続くと景気は良くなっていく。
○	理容室 (経営者)	・業種的には、売上が余り良くないが、客からは徐々に景気が良くなっている話が多いため、全体的に上昇傾向になることを期待している。
○	住宅販売会社 (従業員)	・新型コロナウイルス感染症に対する環境の変化もあり、徐々に客足が戻りつつある。特に若い世代の動きが見られるようになっていく。
□	商店街 (代表者)	・雨期に入ると気温が上がるが、商店街の仮設店舗では、まだ空調設備が完全にできていないため、思うような商売ができていない。
□	商店街 (代表者)	・物価高による消費者の買い控えは、給料や年金受給額が上がらなければ、購買意欲の低迷は続いていく。
□	商店街 (代表者)	・物価が上昇しており、小規模小売店では、一段と厳しい状況になる。ただし、当地では、商業中心地に新たに大規模施設がオープンしており、この影響による地域の活性化に注視したい。3か月後の街のにぎわいに期待している。
□	商店街 (代表者)	・新型コロナウイルス感染症は落ち着いてきているが、特別な変化は出ていない。商品の値上げにより影響が出ており、経済に影を投げかけている。
□	一般小売店 [茶] (販売・事務)	・マスク着用が個人の判断となったが、再度新型コロナウイルス感染症の拡大が心配される。そのため、売上は今後も期待できず、小売店での新型コロナウイルス感染症の影響は大きいと懸念している。
□	百貨店 (企画担当)	・夏のクリアランスセールや夏休み商戦が中心となり、ゴールデンウィークと同じ動向だと予想している。
□	百貨店 (経営企画担当)	・これまで堅調であった高額品の動きがやや鈍くなっており、売上をけん引してきた客層が、外出や旅行への切替えを加速すると予想される。
□	百貨店 (業務担当)	・旅行を始めとして、一部人の動きは戻りつつあるが、商品の需要は変わらない。必需品は購入されており、コロナ禍の間に、Webやその他の購入経路に変更した客が、直接店での買物に戻らない状況になっている。

<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・一部では賃金の引上げがみられるが、共働きに対する控除制度の改定がなく、世帯収入には大きな変化は見込めない。そのため、消費拡大につながるような動きが発生するとは考えにくく、景気への影響も少ない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経理担当）	・賃上げはまだ先になるが、確実に人の流れは増加している。外国人も多くみられるようになり、都市部ではインバウンド効果も現れている。今後、中国からのインバウンドも始まるため、値上げのマイナス分を補えると考えている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・観光地にはぎわいが戻っているが、零細商店にはいつ客が戻ってくるのか分からず、先行き不透明である。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店員）	・コロナ禍で外出を控えていたため、外出用の需要が増加する。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（取締役）	・7月は暑くなり、高額な洋服の購入は不透明であるため、企業で対策を考えることが必要となる。景気については光熱費や商品の値上げがあるため、業種により温度差があり偏った状況になる。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・コロナ禍で内に向けていた需要であったが、規制緩和で外への需要が拡大し、元に戻っていると考えられ、この傾向は続いていく。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・物価高の影響が非常に大きく、現状では良くなる要素がない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・県知事選挙や統一地方選挙が行われたが、物価高騰や消費に変化はなく、景気が大きく変わる要素がない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・今年に入り、低迷が続いており、販売量の動きが出てくる状況にはない。エアコンディショナーの需要を期待したいが、気温次第であるため先行きは見えず、底の状況がしばらく継続する。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（総務担当）	・当面は新車の配給が高水準で推移するため、自動車販売店にとって売上と利益が目標どおり確保できる状態になる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（代表）	・今後、変わる要因が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・特別バイトを雇いながら余暇の計画を実行しているが、置き家具の売行きは、商品仕入れ等の値上げにより厳しくなる。
<input type="checkbox"/>	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・販売量が増えているが、原価や電気代高騰は続いており、給与所得まで反映されていない。この状況は、しばらく続くと考えている。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（専務）	・全国旅行支援の終了後は、今後の予約が全く見通せない。しかし、旅行を控えていた団体客の増加を期待している。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・しばらくは現状の景気が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・予約は増加しているが、新型コロナウイルス感染症発生前の状態には戻らないのではないかと危惧している。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場（営業）	・新型コロナウイルス感染症が落ち着いているが、来場者は個人客が増えている。まだ企業のコンペが自粛傾向にあり、景気回復にはない。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・通常は暖かくなるにつれ客の動きは多くなっていき、景気は徐々に向上するが、3か月先になると梅雨になり暑くなるため、景気は横ばいが続くと考えている。
<input type="checkbox"/>	美容室（店長）	・新型コロナウイルス感染症の感染を心配しながら、人の行動が拡大している。
<input type="checkbox"/>	学習塾（従業員）	・現状では、そのような話を聞かない。
<input type="checkbox"/>	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・景気が好転傾向にあるが、ゴールデンウィークや夏休み等の後に感染拡大が懸念されるため、状況次第では経営環境の悪化が想定される。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（所長）	・世界情勢が不透明で不安定であるため、種々価格の上昇がいつまで続くのか分からない。また、特に地方の個人事業主や中小企業の仕事に対する対価についても、上昇の可能性は分からない。
<input type="checkbox"/>	設計事務所（所長）	・今月の結果が3か月先に出るため、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（従業員）	・前年度末から価格見直しで物価が上昇している。景気は新型コロナウイルス感染症収束に向けての人出の拡大次第である。
▲	商店街（代表者）	・例年、ゴールデンウィーク後は閑散期となる。
▲	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・景気回復を期待したいが、今後の売行きは危惧される。包装材料などが軒並み値上がりしており、利益を出しにくい状況である。魚離れが進んでおり、共働き世帯や若い人に魚の調理法など食べてもらう環境作りが必要である。

	▲	家電量販店（従業員）	・値上げに対する消費者の防衛意識で、購入単価の下落傾向が続くことが懸念される。
	▲	乗用車販売店（従業員）	・年度末が終わり、動きが鈍化すると考えられる。
	▲	高級レストラン（経営者）	・当市では、インバウンドやゴールデンウィークで人が動き出しているため、現在売上が良い状態であるが、ゴールデンウィークが過ぎると売上が落ち込むと予想している。市内での動きは余りみられず、心配している。
	▲	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染症は落ち着いてきたが、ゴールデンウィーク後の予約状況は少なく、企業の動きは株主総会辺りからだと予想されるため、先行きは不透明である。
	▲	一般レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルス感染症が落ち着き、消費もゴールデンウィークを境にある程度落ち着くと予想している。
	▲	通信会社（社員）	・通信業界自体が縮小傾向にあり、取引企業からの手数料減少が危惧される。
	▲	通信会社（企画担当）	・光回線需要が停滞している。
	▲	ゴルフ場（従業員）	・数か月先まで予約は順調に推移しているが、天候次第で入場者が大きく増減する業種であるため、例年どおりの降水量であれば、前年よりやや悪くなると予測される。
	▲	競馬場（職員）	・コロナ禍からの回復により、その他の業種との客の奪い合いで厳しくなっている。
	▲	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・工場の受注が今のところ芳しくなく、操業が夏頃から低くなることが予想されている。
	▲	設計事務所（代表）	・景気状況は変わらない。
	▲	住宅販売会社（代表）	・資材の高騰や人件費、エネルギー関係で、単価が高騰しているため、客足が遠のいている状況である。住宅ローンの金利など対策を打たなければいけないと考えている。
	×	住関連専門店（従業員）	・春先に大きなカンフル剤となるキャンペーンが特になく、例年の催事頼みとなっている。物価高が落ち着く心配がなく、不景気は長期化すると覚悟している。
企業 動向 関連  (九州)	◎	*	*
	○	家具製造業（従業員）	・インバウンドの規制緩和に伴い、市場では徐々に景気が回復すると予想している。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・この1～2か月の状況により、取引先の状態は安定してくる。そのため、協力工場の編成も変わるが、落ち着いてくると本来の動きが出てくると予想される。
	○	電気機械器具製造業（取締役）	・物価高騰により影響はあるが、板金加工など一部特殊業務を除いて全体で引き合いが増加している。
	○	建設業（社員）	・ゴールデンウィーク後に発注があれば、若干景気は良くなるが、公共工事に依存する地方の業者は少しでも早い発注を望んでいる。
	○	金融業（従業員）	・住宅販売はおおむね横ばいながら、自動車販売は持ち直しの動きが見られる。また、雇用情勢が改善していることなどから、百貨店やスーパーマーケットの売上が増加傾向にあり、旅行業の取扱額や飲食業の売上も増加している。
	○	金融業（営業）	・新型コロナウイルス感染症の5類感染症への分類後は、行動制限が平時となり、人の動きは活発化し、経済に好影響を及ぼす。新型コロナウイルス感染症の第8波以上の第9波も予想されるが、人の流れには変化がないと考えている。しかし、物価や賃上げの状況では影響を受ける可能性がある。
	○	金融業（調査担当）	・5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に分類され、新型コロナウイルス感染症発生前の状況に近づくとみている。また、市内初のラグジュアリーホテルの開業が6月に予定されており、インバウンドの更なる活況や、M I C E振興が期待される。
	○	広告代理店（従業員）	・5月から新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ分類されるため、経済活動も正常化していき、今後3か月は景気も良くなっていく。
	○	経営コンサルタント（社員）	・インバウンドが増えており、最近では欧州からの旅行者も多くなっている。
	□	農林水産業（経営者）	・鳥インフルエンザによる原料不足は、今年一杯影響が出ると予想される。売上を大幅に上げることは、大変厳しい状況である。特に5月は最需要期であるため、供給できないことがつらい状況である。7月から8月は夏休みとなり行楽需要があるため、6月の在庫をどうにか回して、夏の需要に備えていく計画である。

	□	食料品製造業（経営者）	・比較的堅調な受注が見込めている。
	□	繊維工業（営業担当）	・当社も生産量は減っており、仕事量は安定しているが、決して景気が良くなったわけではない。
	□	化学工業（総務担当）	・本年度の売上や販売量は、前年度並みを見込んでいる。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・電池案件では、当分この状況が続くと予想され、受注拡大に向け別に作業場所の確保を検討している。一方、半導体分野では、当分の間明るい見通しは立っていない。
	□	輸送用機械器具製造業（営業担当）	・3か月内示からでも、予算時計画数量で生産数を維持しているが、7月以降は不透明感がある。
	□	輸送業（従業員）	・九州は特に半導体関連の投資が多く、企業進出が進んでいるものの、半導体需要も一時期と比較すると低調気味である。海外企業関連に期待する企業進出が増えており、他社に仕事を奪われないように先行投資が多い状況である。
	□	輸送業（総務担当）	・電気代の更なる高騰が影響を及ぼし始めており、財布のひもがより固くなる。また、物流の2024年問題もあり、各運送会社より値上げの要請がきている。交渉の進展次第では物流が止まってしまう懸念もある。一方、大企業では賃上げの気運が高まっており、当面景気は変わらない。荷主によっては例年より増産するところもある。
	□	通信業（職員）	・官庁が施主の営業案件数と受注予想額が伸びておらず、今年度の受注目標に対して厳しい状況である。
	□	金融業（調査担当）	・5月8日からの新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ分類されるが、景気回復への期待が高まる一方で、新型コロナウイルス感染症第9波の発生を懸念する声も根強い。物価高もあり、当面は現状が続くと予想される。
	□	不動産業（経営者）	・周囲では、良くも悪くも変わらない状況である。
	□	経営コンサルタント（代表取締役）	・Webのアクセス数や問合せ件数に変化がない。
	□	経営コンサルタント（社員）	・積極的な情報入手に取り組んでいないこともあるが、状況は余り変わっていない。
	□	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・市町村の委託業が入札で行われた場合、4月中に行われた入札で利益度外視で応札する業者もいるため、今後の入札で利益が出る金額で落札できる見通しが立たない。プロポーザルも公募型が多くなっているため、景気は変わらない。
	▲	窯業・土石製品製造業（経営者）	・値上げ浸透が難しい現状である。また、新商品も出しているが、それが市場に出るのも難しく、しばらく厳しい状況が続くと予想され、懸念している。
	▲	電気機械器具製造業（経営者）	・低調な受注がしばらく続くと予想される。
	▲	電気機械器具製造業（総務担当）	・客の見込みが、需要減少により悪くなっていく。
	▲	その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・半年ほどは半導体受注がないとの情報もあり、上期は期待できない。今後の動きに注視したい。
	▲	通信業（経理担当）	・このところ各種仕入先から値上げ要請が頻繁に行われている。適切に販売価格への転嫁ができればよいが、全ての客に受け入れてもらえるかは不透明であるため、価格転嫁できない場合は、収支に悪影響が出てくる。
	▲	その他サービス業〔物品リース〕（職員）	・インフレによる実質所得の減少により賃上ムードではあるが、コスト上昇を価格転嫁できていない企業も多く、実質所得の減少が長期化し、個人消費にも影響を及ぼす可能性がある。
	×	—	—
雇用関連	◎	—	—
(九州)	○	人材派遣会社（社員）	・6～7月にかけて異動時期のため、企業の欠員補充で受注数が増える。加えて、更新時期に伴う派遣登録者も増加し、やや良くなる見込んでいる。
	○	人材派遣会社（社員）	・お中元関係の注文時期である。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響がないと考えられるため、接客業などで少しずつ対面販売の注文や問合せがきている。
	○	人材派遣会社（社員）	・商品や賃金の値上げが続き、人件費交渉もしやすい環境になっている。
	○	求人情報誌製作会社（編集者）	・ゴールデンウィークから夏の繁忙期に入るため、食品メーカーやサービス業共に多忙になると予想される。インバウンド需要も回復してくると考えられる。

○	新聞社 [求人広告] (担当者)	・新型コロナウイルス感染症が5類感染症に分類され、人の往来や消費活動はより活発化すると考えられる。中心市街地にはホテルや新店舗もオープンし、ゴールデンウィークから夏季休暇期間に向け、人出や消費は良くなっていく。
○	新聞社 [求人広告] (担当者)	・新型コロナウイルス感染症が収束することで消費や経済活動が活発になり、景気が上昇する。一方、新聞の購読料など値上げをしている業種は多く、業種によって明暗が分かれてくる。
○	職業安定所 (職員)	・もろもろの支援により再就職が進み、収入が絶たれた状態が落ち着くため、景気はやや良くなっていく。
○	学校 [大学] (就職支援業務)	・2023年5月8日より、新型コロナウイルス感染症は感染症法上の分類が5類感染症になることから、経済活動も活発になり、新型コロナウイルス感染症発生前の生活習慣に近い状況になっている。日本経済は、インバウンドや国内旅行客も増え、内需を中心に今後回復する傾向にある。企業の新卒採用意欲は底堅く、しばらくはこの状況が続くと予想している。
□	人材派遣会社 (社員)	・高時給求人への転職希望者が増加し、新規登録者が急増している。中小企業では増額がみられないため、多くの転職希望者が希望を満たすような転職が実現できず、現状と変わらない環境で働き続けてしまうケースが多い。
□	新聞社 [求人広告] (社員)	・人の動向が多くなり、様々な業種でそれに対応できる雇用ができていないか疑問である。
□	職業安定所 (職員)	・新規求人数は増加傾向であるが、新規求職者数は前年比減少で推移している。人手不足の状況が続いているため、景気は変わらない。
□	民間職業紹介機関 (職員)	・新型コロナウイルス感染症が落ち着いているが人手不足のため、この状況が続いていく。そのため、現時点の景気は好調であるが、これ以上良くなることはない。
□	学校 [専門学校] (就職担当)	・特に景気が変わる要素が見当たらない。
▲	*	*
×	—	—